

■ INDEX ■

[1] 【速報】70 期司法修習終了者の就業状況

ジュリスティックスは毎月 1 回、弁護士・司法修習生・修了生の就職、採用等に関する情報、その他各種調査レポートをメールマガジンでご案内しています。
※本メールマガジンに記載された内容についてその一部又は全部につき無断で引用、転載することを禁止します。

[1] 【速報】70 期司法修習終了者の就業状況

@5 大事務所採用数、前年比約 20%増

本日、70 期司法修習終了者の弁護士登録状況を確認し、ジュリスティックスでは初めて一括登録時点での就職動向を調査しました（例年 1 月末時点、4 月末時点、6 月末時点の登録状況を調査）。

一括登録時期においては例年 2～3 割の修習終了者が弁護士未登録なため、調査対象としておりませんでした。今年度は 5 大事務所の採用増が見込まれたため、一括登録時点の弁護士登録状況を調査することに致しました。

調査の結果、弁護士登録者数は 1,075 名で、所属状況は以下の通りです。

■ 70 期司法修習終了者の就業状況（2017 年 12 月 15 日時点）

	弁護士数
法律事務所	1,020 (94.9%)
企業	35 (3.3%)
公的機関	1 (0.1%)
その他団体	7 (0.7%)
総計	1,075

（※2016 年司法試験合格者数は 1,583 名）

70 期司法修習終了者の正式な人数は、まだ官報に掲載されておきませんので不明ですが、当該修習期相当の昨 2016 年司法試験合格者は 1,583 名でしたので、例年の動向から推測すると、1,500 名強になると思われます。

この 1,500 名強のうち、例年通りであれば裁判官、検察官の採用数が 160 名前後になります。弁護士登録者は上記の通り 1,075 名ですので、未登録者数は約 250～300 名（16.7～20.0%）と推測されます。

69 期は、一括登録時点で司法修習終了者 1,762 名に対し未登録者が 416 名（23.6%）でしたので、一括登録時点での弁護士未登録者は減少する見込みです。

■ 5 大事務所採用人数

	70 期	69 期
西村あさひ	37	43
アンダーソン・毛利・友常	45	34
森・濱田松本	41	29
長島・大野・常松	35	43
TMI 総合	15	20

（※69 期は 2017 年 1 月末時点の人数）

また、法律事務所の採用動向の指標となる 5 大事務所は、新人弁護士の供給が

大幅に減少する中、昨年の 156 名（2016 年 1 月末時点）から 30 名増の 186 名となり、前月の本メールマガジンでも言及しました通り、前年比約 20%増と、大幅な増加となりました。

これで 6 年連続の採用数増となり、企業法務、渉外案件の拡大の影響が如実に表れた結果と言えるでしょう。

企業、公的機関、その他団体の弁護士登録につきましては、1 月就職、4 月就職の方が多いため、これから 4 月にかけて登録者が増えてくる見込みです。例年の動向から鑑みますと、新卒で企業に就職する弁護士は 50 名前後になりそうです。

引き続き調査、分析し、情報をご案内して参ります。

※過去のジュリスティックスメールマガジンの一部を弊社 HP にてご案内しております。

こちらも是非ご覧下さい。

<http://www.juristix.com/report>

***** 編集後記 *****

さて、今月のジュリスティックスメールマガジンが 2017 年最後の配信となります。今年は昨年にも増して、多くの大学、法律事務所、企業の方々にお世話になりまして、誠にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

今年は初めて法科大学院協会主催／日弁連共催の法科大学院キャラバンにブース出展させていただいたり、全国の大学で法科大学院新入生向け、学部生向けにガイダンスを開催させていただいたり、私個人としても特に大学の先生方や事務御担当者様、日弁連の関係者様大変お世話になった一年でした。

また、今年から様々なところで、本メールマガジンに関する感想や各種データを実際に参考資料としてご利用いただいている声を多くいただくようになりまして、大変光栄でございました。

弊社が各種データをご提供させていただいた大手新聞社からも、弁護士や修了生に関してポジティブな情報が発信され、また、いくつかの法科大学院では入学者数が上向きに転じるなど、法科大学院、法曹を取り巻く環境が少しずつ上向いてきた印象があります。

しかしながら、キャラバンやセミナーなどで全国各地を回りながら各大学の先生方、実務家の方々、そして法曹を目指す学生の皆さんとお話させていただいていると、まだまだ情報が行き届いていないことも痛切に感じた次第です。

来年はますます活動の場を広げ（ありがたいことに、弊社の各種データをご紹介させていただく新たな機会が既にいくつか予定されております。）、未来の法曹／法務人材となる大学生や高校生に法科大学院、法曹の魅力を伝えて参る所存です。

セミナーの開催や各種データのご紹介等、ご相談がございましたら全国各地飛んで参りますので、遠慮なくお申し付けくださいますと幸いです。

そして、このメールマガジンをご高覧いただいている皆様におかれましては、有益な情報をご提供できるよう、気持ち新たに業界の情報収集、発信に努めて参りますので、来年も何卒宜しくお願い致します。

（ジュリスティックス 大久保）